

肝炎情報センター活動報告

ー 令和8年度に向けて

国立健康危機管理研究機構
国立国際医療研究所
肝炎・免疫研究センター
肝炎情報センター

考藤 達哉



(国府台)

令和7年度の活動

肝炎情報センター

- **情報発信**
 - ホームページ・コンテンツの充実
 - 肝炎医療ナビゲーションシステム（肝ナビ）運用
 - 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（指定医療機関）への対応
- **連携強化**
 - 拠点病院活動現状調査と結果の共有
 - 拠点病院・自治体・患者団体との意見交換会
 - 肝炎対策地域ブロック戦略会議の開催
- **研修充実**
 - 研修会の充実とアーカイブ資料提供
 - 肝疾患患者相談支援システム運用

肝炎情報センターHP

The screenshot shows the homepage of the Hepatitis Information Center (JIHS). At the top left is the logo and name: 国立健康危機管理研究機構 肝炎情報センター Hepatitis Information Center. To the right are options for text size (小, 中, 大) and a search button. Below this are navigation tabs: 国の肝炎総合対策, 肝炎情報センターとは, ユーザー別で探す, カテゴリー別で探す, and 資料庫. A central banner reads: 肝炎情報センターのミッション(使命) 連携 — 肝疾患診療連携拠点病院とともに 情報 — 肝疾患診療のソフトウェア・リソース 研修 — 明日の肝疾患診療・相談業務に活かす. Below the banner is a button: 拠点病院と相談・支援センターを探す. Further down are four featured items: 肝ナビ (ナビゲーションシステム), 参加型プログラム 誰でも簡単にできる 肝炎体操 (説明用スライド・動画つき), 知って、肝炎 (PREVENT HEPATITIS: IT'S UP TO YOU), and 青少年の「初めて」. Below these are two main navigation panels. The left panel, titled 'ユーザー別で探す', has categories: 一般・患者の方へ, 保育関係者の方へ, 高齢者施設の方へ, 働く方へ, and 産業保健関係者の方へ. The right panel, titled 'カテゴリー別で探す', has categories: センターの取り組み, 全国の拠点病院の紹介と取り組み, 都道府県・市町村の取り組み, 病気について, 医療・福祉の制度やサービス, 日常生活の場での注意点, B型肝炎の母子感染について, and 厚生労働省からの主要通知・診療ガイドライン等. At the bottom left, there is a '新着情報' (New Information) section. At the bottom right, there is a 'facebook' link and a '知って、肝炎' logo.

新着情報

- 厚労省からの通知
- 肝臓学会からの情報提供
- 新薬保険承認情報など

英語版と中国語版公開

拠点病院と肝疾患相談センターHP紹介

- FB/拠点病院の啓発・研修活動紹介
- 肝ナビ
- 現状調査まとめ
- B型肝炎教育資材
- 肝炎体操
- 診療連携班好事例集
- **肝がん重度肝硬変治療研究促進事業成果物**

肝がん重度肝硬変治療研究促進事業の成果物

厚労省, 地方公共団体作成分

肝がん重度肝硬変治療研究促進事業

リーフレット

厚生労働省

肝がん・重度肝硬変の方
医療費の助成対象かもしれません

治療2月から入院も通院も自己負担月1万円へ
1月あたり最大47,600円の医療費の助成が受けられます！

B型・C型肝炎ウイルスが原因の「肝がん」や「重度肝硬変」の治療を受けている

高額療養費の基準額を超える月が2月以上ある場合
年あたり370万円以下

条件すべてに該当する方は、申請することができます

大阪府

肝がん・重度肝硬変の医療費は、助成が受けられます

B型・C型肝炎ウイルスが原因の肝がん・重度肝硬変の方
治療2月から入院も通院も助成が受けられます

高額療養費の基準額を超える月が2月以上ある場合

次の方が対象です
肝がん・重度肝硬変で入院または通院

大分県

B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変を治療中の方へ
～医療費助成制度のご案内～

治療開始の2月目から入院も通院も月1万円になります！

あなたは対象ではありませんか？

対象となる方

- B型、C型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変の方で入院または通院で治療中の方
- 世帯年収が概ね370万円以下である方
- 高額療養費特定基準額を超えた月が過去2年以内に2ヶ月以上ある方
- 肝がん・重度肝硬変の治療の研究に協力していただける方
- 健康保険証をお持ちの方

申請方法
必要書類を揃えて管轄保険所の担当窓口にご提出ください

熊本県

佐賀県（神奈川県・岩手県・富山県・石川県等で使用）

肝がん・重度肝硬変治療助成制度の紹介

2021年4月よりさらに利用しやすくなりました！

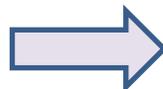
POINT 1 3月目から助成が受けられる！

POINT 2 新しく肝がんの通院治療も対象に！

見る YouTube

肝炎情報センターHP – 都道府県・市町村の取り組み

📖 カテゴリー別で探す	
センターの取り組み	全国の拠点病院の紹介と取り組み
都道府県・市町村の取り組み	病気について
医療・福祉の制度やサービス	日常生活の場での注意点
B型肝炎の母子感染について	関連主要通知・診療ガイドライン等



都道府県・市町村の肝炎対策を紹介

- ・ 地方公共団体の肝炎対策のページ
- ・ 肝炎対策コミュニケーションツール（動画、リーフレット等）
- ・ 研修会・公開講座・肝炎対策協議会開催通知等
- ・ 知って肝炎プロジェクト活動報告（積極的広報地域）

都道府県・市町村の取り組み

肝炎対策部署・取り組みについての情報

○ 地方公共団体（都道府県）肝炎対策部署



○ 地方公共団体（都道府県・保健所設置市）取り組み

*参照：肝炎対策地域ブロック戦略合同会議

■ 令和6年度

- [奈良県の肝炎対策の取り組みについて](#)
- [島根県の肝炎対策](#)

■ 令和5年度

- [静岡県の前患対策について](#)
- [神奈川県での取り組み](#)

■ 令和4年度

- [茨城県の活動事例報告](#)
- [鳥取県の肝炎対策について](#)

■ 令和3年度

- [岐阜県の肝炎・肝がん対策について](#)
- [川崎市における肝炎対策の取り組みと課題](#)

肝炎患者支援についての情報

○ 肝炎対策コミュニケーションツール情報

- [肝がん重症肝炎変遷治療研究促進事業](#)（動画・リーフレット有）
- [初期精密検査](#)（リーフレット有）
- [定期検査費用助成](#)（リーフレット有）
- [肝炎治療特別促進事業](#)

研修会・公開講座・肝炎対策協議会開催についての情報

○ 肝炎医療コーディネーター研修会

- [肝炎医療コーディネーター養成](#)
- [肝炎医療コーディネーターのスキルアップ](#)

○ 市民公開講座

- [市民公開講座](#)

○ 肝炎対策協議会（感染部会） * 肝炎対策計画（指針）等のみ

- 北海道・東北
・北海道 ・青森県 ・岩手県* ・秋田県 ・山形県* ・福島県*
- 関東信越
・茨城県 ・栃木県 ・群馬県 ・埼玉県 ・千葉県 ・東京都 ・神奈川県 ・山梨県 ・長野県* ・新潟県*
- 東海北陸
・富山県 ・岐阜県 ・静岡県* ・愛知県* ・三重県*
- 近畿
・福井県* ・京都府 ・大阪府 ・兵庫県 ・奈良県
- 中国・四国
・鳥取県* ・島根県 ・岡山県 ・広島県 ・徳島県 ・香川県* ・愛媛県
- 九州
・福岡県 ・佐賀県* ・熊本県* ・大分県* ・鹿児島県

啓発についての情報

○ 知って肝炎プロジェクト（積極的広報地域）

- 2024年度
 - ・ 広島県 2025/01/23 2024/11/16 2024/07/28 2024/05/14
 - ・ 香川県 2025/01/21 2024/12/07 2024/11/30 2024/09/28 2024/07/28
 - ・ 宮崎県 2024/10/29 2024/06/25
 - ・ 愛知県（豊橋市） 2024/09/03 2024/06/09 2024/06/04
- 2023年度
 - ・ 岩手県 2024/01/30① 2024/01/30② 2024/12/16 2024/12/06 2024/11/04 2024/06/24 2024/04/18
 - ・ 神奈川県（藤沢市） 2023/11/29 2023/09/24 2023/07/29 2023/05/17
 - ・ 長野県（松本市） 2023/10/15 2023/09/14 2023/07/09 2023/05/23

○ 普及啓発事業

- [普及啓発事業](#)

○ その他（シンポジウム開催）

- [その他（シンポジウム開催）](#)

肝炎情報センターHP – 主要通知等集約

📖 カテゴリー別で探す	
センターの取り組み	全国の拠点病院の紹介と取り組み
都道府県・市町村の取り組み	病気について
医療・福祉の制度やサービス	日常生活の場での注意点
B型肝炎の母子感染について	関連主要通知・診療ガイドライン等



主要通知等を集約

- ・厚生労働省からの通知
(最新5件表示
過去の通知はリンク先に収納)
- ・日本肝臓学会からの情報
- ・その他のガイドライン 等

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
NCGH 肝炎情報センター

文字サイズ 小 中 大 サイト内検索 検索

アクセス 国立国際医療研究センター

国の肝炎総合対策 | 肝炎情報センターとは | ユーザー別で探す | カテゴリー別で探す | 資料庫

↑ トップページ > ユーザー別で探す > 医療関係者の方へ > 厚労省関連通知・診療ガイドライン等についての情報

↑ トップページ > カテゴリー別で探す > 厚労省関連通知・診療ガイドライン等 > 厚労省関連通知・診療ガイドライン等についての情報

👤 ユーザー別で探す

- 一般・患者の方へ
- 保育関係者の方へ
- 高齢者施設の方へ
- 働く方へ
- 産業保健関係者の方へ
- 医療関係者の方へ
- 拠点病院関係者の方へ

📖 カテゴリー別で探す

- センターの取り組み
- 全国の拠点病院の紹介と取り組み
- 都道府県・市町村の取り組み
- 病気について
- 医療・福祉の制度やサービス
- 日常生活の場での注意点
- B型肝炎の母子感染について
- 厚労省関連通知・診療ガイドライン等

厚労省関連通知・診療ガイドライン等についての情報

厚労省関連通知

- 2024年1月9日 厚生労働省事務連絡「令和6年能登半島地震にかかる災害の被災者に係る公費負担医療の取扱いについて」を掲載しました
- 2024年1月9日 厚生労働省のホームページに「石川県能登地方を震源とする地震に関する情報」が掲載されています
- 2023年10月17日 第31回肝炎対策推進協議会（オンライン [YouTube]）開催について（外部サイトにリンクします）
- 2023年8月22日 厚生労働省事務連絡「欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について（保健所における調査の終了、研究班への協力依頼）」を掲載しました
- 2023年3月22日 「職域におけるウイルス性肝炎対策に関する協力の要請について」が発出されました

全て表示

日本肝臓学会からの情報

- ▶ B型肝炎治療ガイドライン
- ▶ C型肝炎治療ガイドライン
- ▶ 肝がん白書
- ▶ 肝臓リハビリテーション指針（2023年5月9日掲載）

最新の診療についての情報

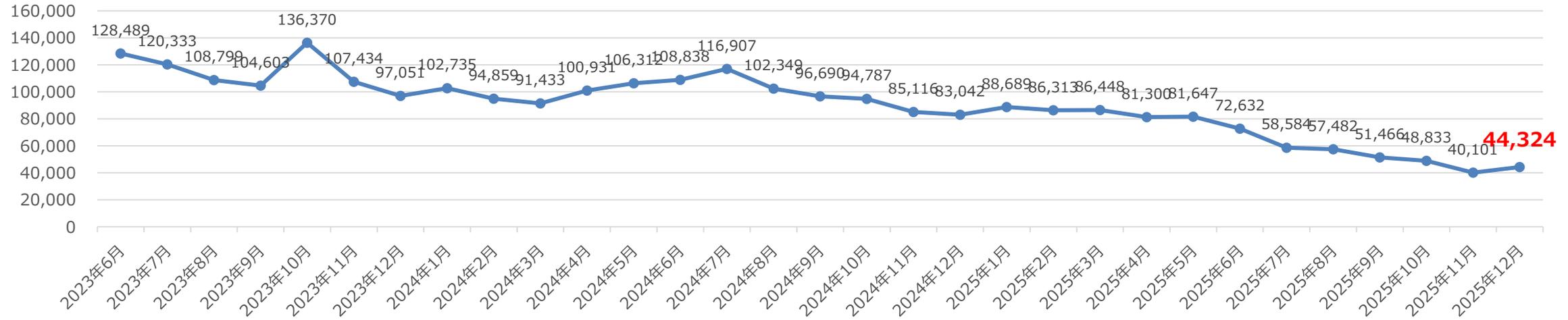
その他のガイドライン

- ▶ 患者さん・家族のための「自己免疫性肝炎（AIH）ガイドブック（第2版）」
- ▶ 「自己免疫性肝炎（AIH）診療ガイドライン（2021年）」
- ▶ 患者さん・家族のための「原発性胆汁性胆管炎（PBC）ガイドブック」
- ▶ 「原発性胆汁性胆管炎（PBC）診療ガイドライン（2023年）」

肝炎情報センターHP – アクセス状況

表示回数の推移 (月単位)

2023.6~2025.12



コンテンツ分析 (2025年12月)

	ページ タイトルとスクリーン クラス	表示回数	割合	アクティブ ユーザー	アクティブ ユーザーあたりのビュー	アクティブ ユーザーあたりの平均エンゲージメント時間
1	B型肝炎ウイルス検査について	6161	13.90%	5067	1.22	0分41秒
2	B型肝炎	4953	11.17%	3753	1.32	1分21秒
3	C型肝炎	4937	11.14%	3922	1.26	1分03秒
4	肝硬変	4218	9.52%	3249	1.30	1分08秒
5	急性肝炎	2914	6.57%	2382	1.22	1分02秒
6	参加型プログラム 誰でも簡単にできる肝炎体操	2847	6.42%	1992	1.43	0分37秒
7	C型肝炎ウイルス検査について	2132	4.81%	1759	1.21	0分39秒
8	アルコール性肝障害	1894	4.27%	1482	1.28	1分01秒
9	国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 肝炎情報センター	1856	4.19%	862	2.15	0分32秒
10	代謝機能障害関連脂肪性肝疾患	1278	2.88%	905	1.41	1分28秒

疾患情報の充実（2025年度改訂済）

国の肝炎総合対策 肝炎情報センターとは ユーザー別で探す カテゴリー別で探す

↑ トップページ > ユーザー別で探す > 一般・患者の方へ

ユーザー別で探す

- 一般・患者の方へ
- 保育関係者の方へ
- 高齢者施設の方へ
- 働く方へ
- 産業保健関係者の方へ
- 医療関係者の方へ
- 拠点病院関係者の方へ

カテゴリー別で探す

- センターの取り組み
- 全国の拠点病院の紹介と取り組み
- 都道府県・市町村の取り組み
- 病気について

一般・患者の方へ

病気・治療についての相談

- 肝疾患相談・支援センター
- 肝疾患診療連携拠点病院

それぞれの肝臓病についての情報

それぞれの肝臓病についての情報では

- 急性肝炎
- B型肝炎
- C型肝炎
- 非アルコール性脂肪性肝疾患
- アルコール性肝疾患
- 肝硬変
- 肝がん
- その他の肝臓病

執筆者（敬称略・掲載順）

- 八橋 弘
- 茶山 一彰
- 前川 伸哉, 榎本 信幸
- 高橋 宏和, 江口 有一郎
- 考藤 達哉
- 中西 裕之, 安井 豊, 泉 並木

肝炎医療ナビゲーションシステム

肝ナビで出来ること-機能紹介-



目的の医療機関を探す

肝炎検査機関・指定医療機関について
地域一覧やフリーワードから探すことができます

医療機関を探す →

肝ナビで出来ること-機能紹介-



肝がん・重度肝硬変 治療研究促進事業とは

事業や手続きに関するご案内

詳しくはこちら →

肝ナビで出来ること-機能紹介-



関連機関の種類を知る

病院・拠点機関など肝炎に関する
医療機関の種類と役割をご紹介します

詳しくはこちら →

肝ナビで出来ること-機能紹介-



肝炎情報を知りたい

肝炎に関連した情報を提供する
サイトを紹介しています

- 肝炎情報センターHPに設置
- 肝炎ウイルス検査ができる病医院、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の指定医療機関（1607件、2026/1/23現在）をウェブで検索できるシステム
- 対応デバイスは、PC、スマートフォン、タブレットなど
- GPS機能で、現在地の最寄りの施設を検索可能

肝ナビで出来ること-機能紹介-



肝ナビの使い方を知る

検査実施機関・指定医療機関の検索方法など
肝ナビサイトの使い方をご紹介します

詳しくはこちら →



<https://kan-navi.jihs.go.jp/>

肝ナビ サイトリニューアルのご案内

肝ナビで医療機関を検索

「肝ナビ」は肝炎検査・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業 指定医療機関などを調べることができます。



医療機関を探す

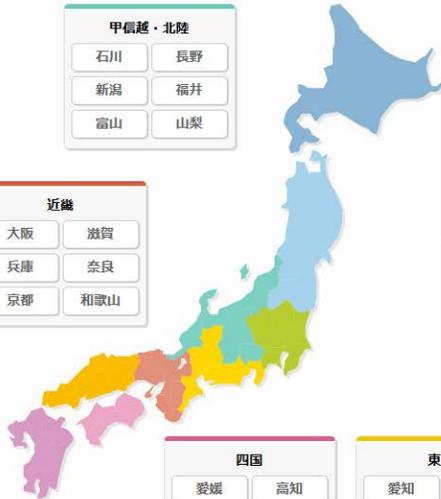
地域一覧 から医療機関を探す

検索対象 検査 肝がん

中国
広島 鳥取
岡山 島根
山口

近畿
大阪 滋賀
兵庫 奈良
京都 和歌山

甲信越・北陸
石川 長野
新潟 福井
富山 山梨



北海道
北海道

東北
青森 宮城
岩手 山形
秋田 福島

関東
東京 群馬
神奈川 栃木
千葉 茨城
埼玉

四国
愛媛 高知
香川 徳島

東海
愛知 岐阜
静岡 三重

最終更新: 2024年12月21日

フリーワードから医療機関を探す

検査 肝がん

検索

全国地図から医療機関を探す

肝がん・重度肝硬変とは

肝がん及び重度肝硬変（非代償性肝硬変）は、慢性肝炎、肝硬変（代償性肝硬変）を経て進行していく一連の病態の最終段階です。肝がんは再発率が高く、長期的に治療を繰り返すことが多く、また、重度肝硬変では、肝性脳症、食道・胃静脈瘤等の合併症の治療を繰り返すことがあります。



関連機関の種類

肝炎検査・治療等を支援する5つの機関

肝炎検査や治療・支援を行う関連機関は複数あり、それぞれ役割が異なります。どのようなサポートを受けたいかにより受診する機関が異なりますので、肝ナビで検索する際は以下の種類を参考にしてください。また、特定のサポートのみを行っている機関もあるためお住まいの地域の保健所や役所のサイトなども合わせて確認することをおすすめいたします。

肝疾患
診療連携拠点病院

肝疾患
専門医療機関

委託医療機関

指定医療機関

保健所

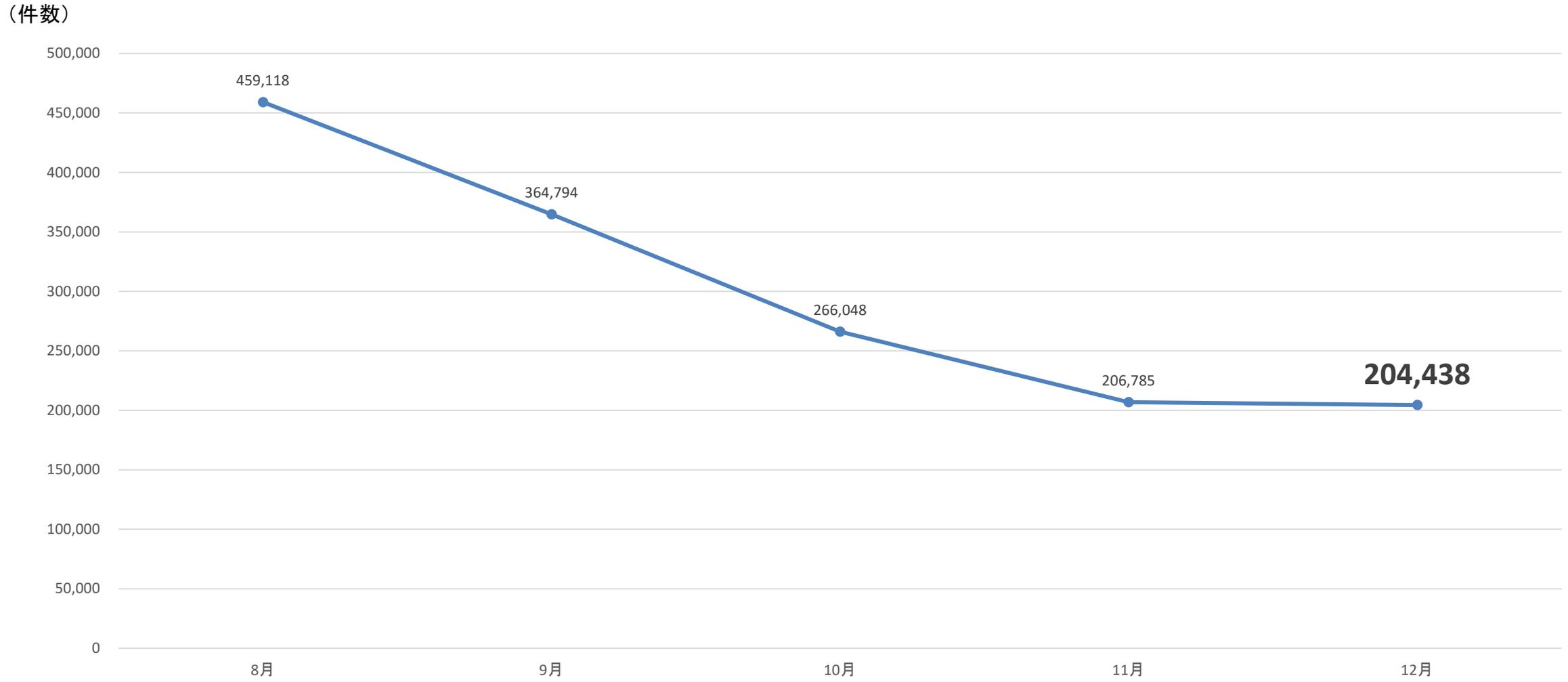


<主な改訂内容>

- 幅広いユーザーに対応するビジュアル（イラストやフォント）
- GPSによる検索機能を維持しつつ、医療機関をより検索しやすいイラストマップの導入とフリーワード検索の導入
- 表示項目の整理
- 利用端末の多様化によるレスポンス化→デスクトップ・タブレット・スマートフォンによる閲覧に最適化したデザインへ

肝炎医療ナビゲーションシステム

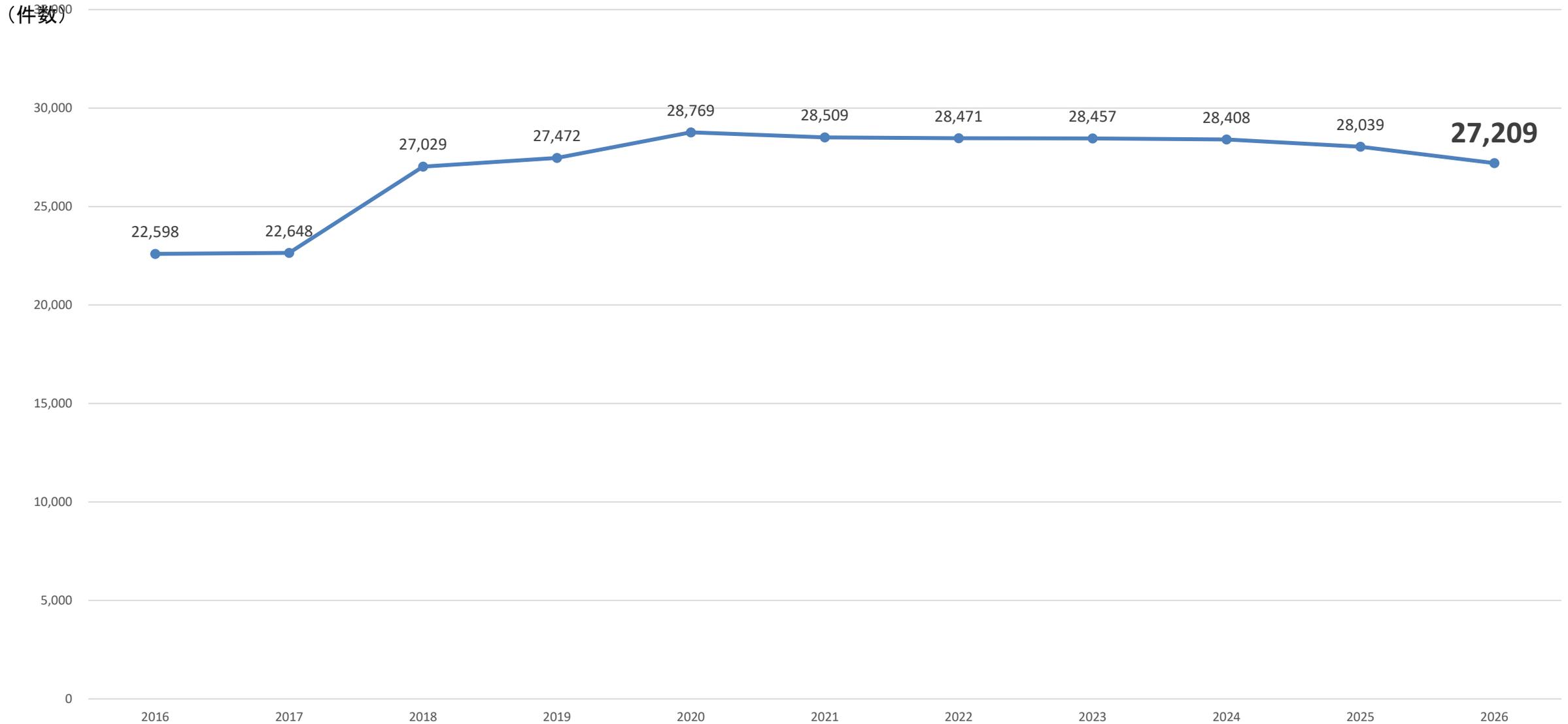
ホームページ アクセス数



2025

肝炎医療ナビゲーションシステム

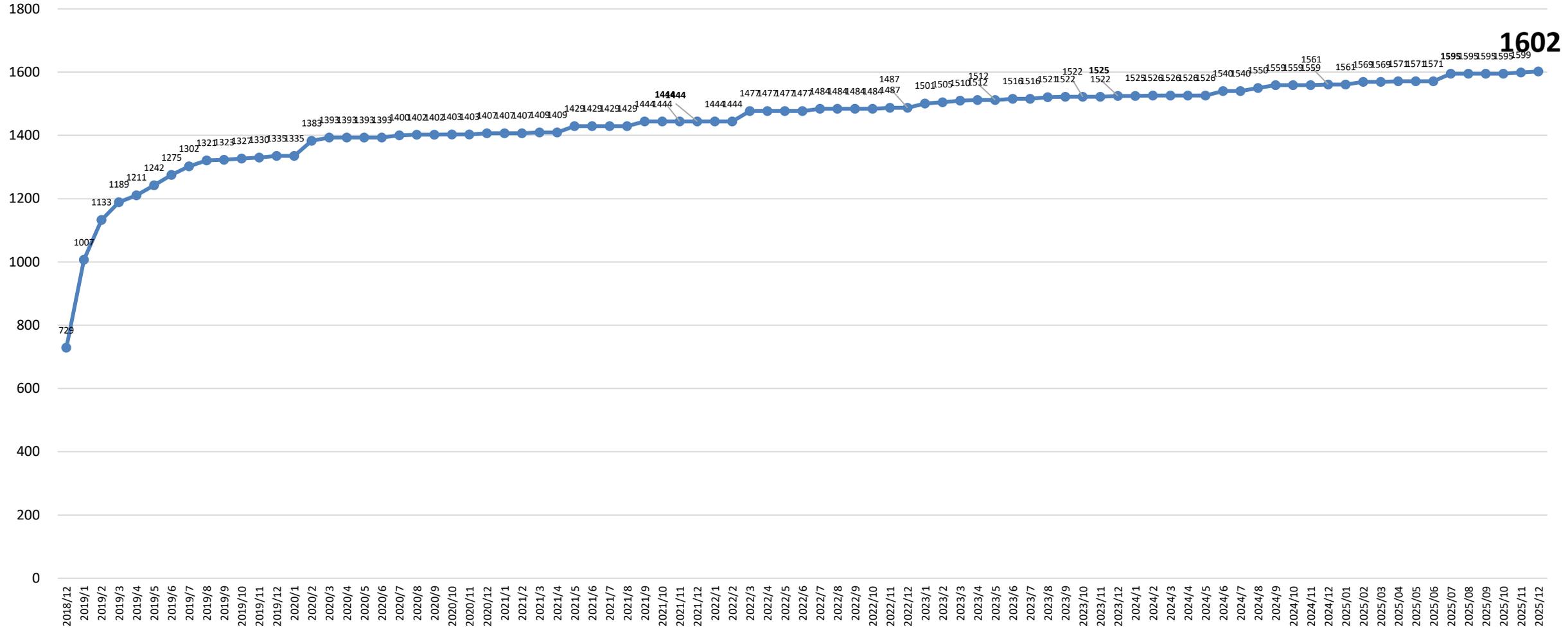
ウイルス肝炎検査指定医療機関の登録数



肝炎医療ナビゲーションシステム

肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の 指定医療機関登録数

(件数)



お願い

拠点病院肝疾患相談・支援センターHPの内容, リンク切れ等について

現在, 全72拠点病院において肝疾患相談・支援センターのHPが作成されていますが, 掲載内容に差が認められています。
以下の項目について, 掲載のご検討をお願い致します。

- **肝疾患相談センターの説明（拠点病院としての役割・位置づけ）**
- **国の助成制度の説明**
- **自都道府県の肝疾患専門医療機関の掲載**
- **肝疾患説明**
- **就労支援に係る案内**
- **肝炎訴訟に係る案内**
- **市民公開講座や医療従事者講習会の内容（Agenda）の公開 など**

ご施設のHPのリンク切れ箇所について**資料**で配布しております。
アップデートについて, ご検討をよろしくお願い致します。

令和7年度肝炎対策に係る意見交換会

- **肝炎対策基本指針**（令和4年3月7日改正）第9 その他肝炎対策の推進に関する重要事項（3）地域の実情に応じた肝炎対策の推進 抜粋
国及び肝炎情報センターは、都道府県間での肝炎医療の均てん化に資するよう、その実施状況に鑑み、適切な情報提供や助言を地方公共団体、拠点病院等に対して行うとともに、**更に必要な意見交換を行うものとする。**
- **肝炎情報センター戦略的強化事業_地域における肝炎対策の評価・連携体制構築支援事業**（令和5年度追加）
肝炎医療の均てん化を図るため、肝炎情報センターが、都道府県における肝炎対策の実施状況を把握し、指標を元にした評価を行うとともに、都道府県が肝疾患診療連携拠点病院や地域の医療機関等との連携体制を構築するための支援を行う。

肝炎対策に係る関係者との意見交換会を実施

<令和7年度>

- ① 大分県開催（令和7年 6月27日）
- ② 広島県開催（令和7年 10月17日）
- ③ 高知県開催（令和7年 11月21日）



広島県意見交換会（福山市：令和7年10月17日）

令和7年度肝炎対策地域ブロック戦略会議

○参加者：拠点病院、都道府県、保健所設置市、肝炎対策推進室、肝炎情報センター

○全国を6ブロックに分けて、肝炎対策に係る各地域での課題解決に資する情報提供、連携協力体制構築などに資する会議を開催するもの

○令和7年度開催実績

ハイブリッド（現地+web配信）にて開催

*オンデマンド視聴者未

参加人数*（昨年）

北海道・東北	令和7年10月6日	アートホテル弘前シティ	67	(72)名
関東信越	令和7年10月3日	東京コンファレンスセンター品川	99	(110)名
東海北陸	令和7年9月29日	ホテルグリーンパーク津	62	(64)名
近畿	令和7年10月23日	滋賀県庁危機管理センター	96	(93)名
中国四国	令和7年10月17日	福山市生涯学習プラザ	81	(82)名
九州	令和7年10月10日	鹿児島県医師会会館	54	(66)名
			計	459 (487)名

令和8年度 ブロック会議 2027年9月～10月開催

○令和8年度 世話役（敬称略）

大原 正嗣（北海道大学病院）
前代 達次（琉球大学病院）
本多 隆（名古屋大学医学部附属病院）
永原 天和（鳥取大学医学部附属病院）
高井 淳（京都大学医学部附属病院）
内田 義人（埼玉医科大学病院）



肝炎情報センター主催研修会

- 連絡協議会参加者向け
 - 肝疾患相談・支援センター関係者向け
- 年2回 } 肝炎情報センターHPで
年1回 } 資料公開（研修会アーカイブ）

R7年度肝疾患診療連携拠点病院肝Co向け スキルアップ研修会

- 令和7年8月29日開催
- 研修会テーマ：行動経済学を活用した効果的な患者支援

R7年度第2回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間 連絡協議会・研修会

- 令和8年2月6日開催（本日）
- 研修会テーマ：慢性肝疾患～肝癌（講師：黒崎雅之先生（武蔵野赤十字病院））
- ブロック会議情報共有

R7年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会

- 令和8年2月28日開催予定
- 研修会テーマ：好事例から学ぼう！院内肝Co間連携向上と肝臓病教室/市民公開講座の集客増加



肝疾患診療連携拠点病院の現状調査

肝疾患診療連携拠点病院の現状調査

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター

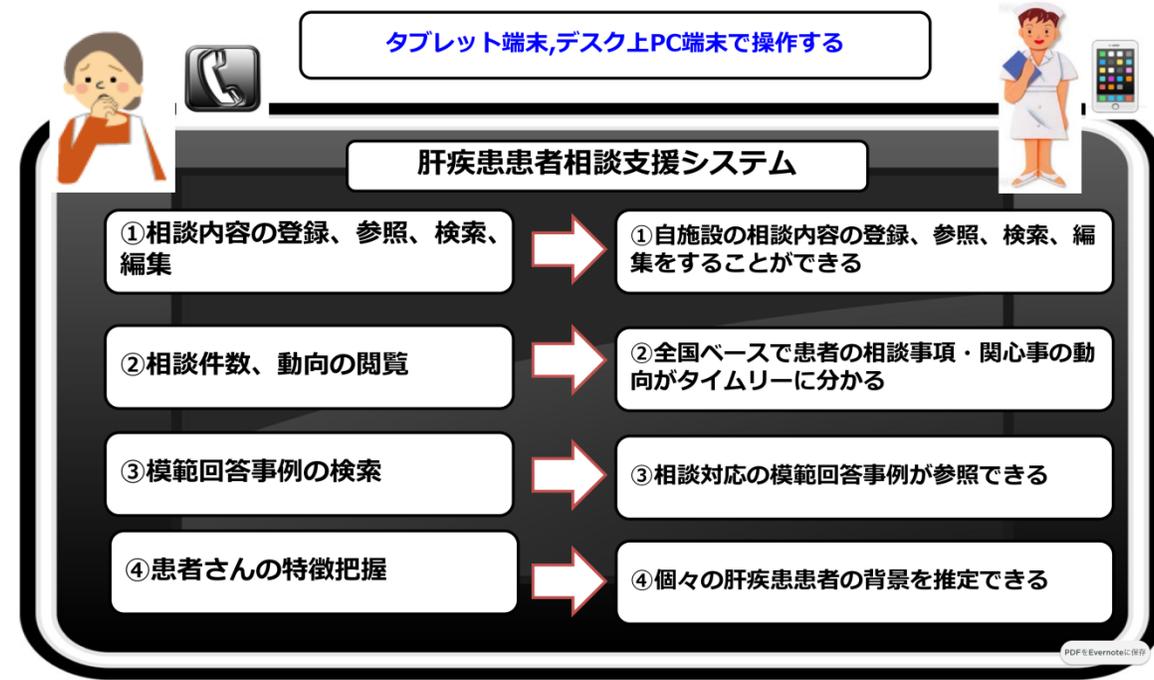
○令和6年度分につき、令和7年7月に調査中

平成21年度 (平成22年 5月に調査)	: 55病院から回答
平成22年度 (平成23年 7月に調査)	: 66病院から回答
平成23年度 (平成24年12月に調査)	: 70病院から回答
平成24年度 (平成25年12月に調査)	: 70病院から回答
平成25年度 (平成26年10月に調査)	: 70病院から回答
平成26年度 (平成27年9月に調査)	: 70病院から回答
平成27年度 (平成28年7月に調査)	: 70病院から回答
平成28年度 (平成29年7月に調査)	: 70病院から回答
平成29年度 (平成30年7月に調査)	: 70病院から回答
平成30年度 (令和元年7月に調査)	: 71病院から回答
令和元年度 (令和2年7月に調査)	: 71病院から回答
令和2年度 (令和3年7月に調査)	: 71病院から回答
令和3年度 (令和4年7月に調査)	: 71病院から回答
令和4年度 (令和5年7月に調査)	: 72病院から回答
令和5年度 (令和6年7月に調査)	: 72病院から回答
令和6年度 (令和7年7月に調査)	: 72病院から回答

肝疾患患者相談支援システム

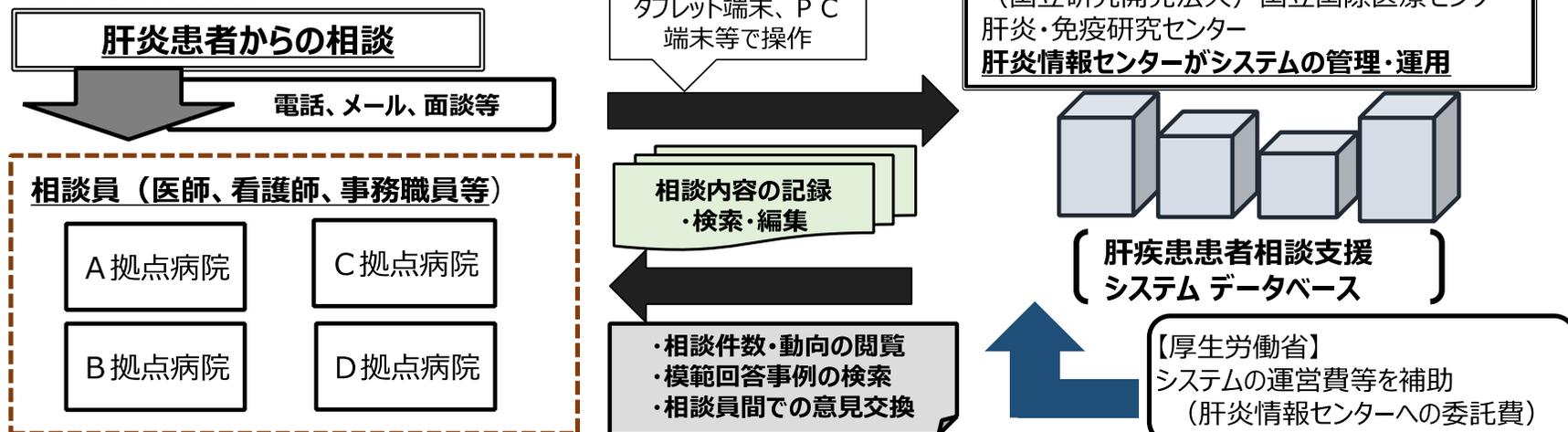
- H30年度導入済
- 拠点病院相談員利用
- 相談件数・内容登録
- 拠点病院現状調査として活用
- 困った事例の相談
- 好事例の紹介
- マンスリーレポート

肝疾患患者相談支援システムの概要



平成28年度第1回医師向け研修会資料（八橋 弘先生）

■ 主な関係者と役割



平成29年度肝炎対策地域ブロック会議資料

「肝炎すごろく第3版」 — 遊びながら（短時間で）肝臓に良い行動や知識を学べる資料

遊び方

カードの準備 カードを箱から取り出して
まぜまぜ

クイズカードは
クイズ面に
クイズ面を上

肝炎ウイルスリスクカード
はシャッフルしておく

ルール

サイコロをふって進みます
各マスでは以下の指示に従います

+1 肝臓にいいこと

+2 マスの数字
+1-1枚ゲット
-1-1枚する

+1 脂肪カードを
手札に加える

+2 アルコール
カードを手札
に加える

? クイズに回答
正解すると
レバーコイン
1枚ゲット

+1 肝炎ウイルスの
感染リスクに
なる行動

STOP 肝臓を守る行動を
自分で選ぶ

肝炎すごろく

スタート! 全てのプレイヤーに
レバーコインを5枚配る

肝臓の健康度
多い人が勝ち! **+5**

脂肪やアルコール、ウイルス感染などのリスクを
くりくりあげ、健康な肝臓を維持しながらゴールを
目指しましょう! (推奨プレイヤー数: 2-4人)

肝炎医療コーディネーターに出会う
肝炎予防の啓発
肝炎治療の実際
疫学機軸の紹介
肝炎医療についての知識を得る。肝炎医療コーディネーターを手札に加える

肝臓ウイルス検査
手札の肝炎ウイルスリスクを全ておもて面に
B型肝炎ワクチンカードをもつ人は
「B型肝炎」を手札から捨てる
残ったウイルスリスクの結果を見て
それぞれのルートに進む

診察を受ける?
以下のどちらかを選ぶ

サボる (増殖しない)
レバーコイン2枚
を捨て、日常ルート
へ1マス進む

はい (増殖する)
肝炎検査ルート
を続ける。肝炎医療
コーディネーターが
手札にあればレバー
コイン1枚ゲット

肝臓の定期検診
肝臓の定期検診が手札に
あればレバーコイン1枚獲得 **+1**

脂肪肝 発症!?
脂肪・アルコールが
合計2枚以上のプレイヤーは
レバーコインを2枚失う **-2**

肝がん 発症!?
手札のウイルスリスクのおもて面を
確認し、慢性ありまたは
脂肪・アルコールが合計4枚以上の
人はレバーコインを5枚失う **-5**

ゴール!

先着ボーナス 若い順に応じてレバーコインをゲット!

1歳 **+5** 2歳 **+3** 3歳 **+1** 4歳 **+0**

手札チェック あてはまったらレバーコインを捨てる

脂肪・アルコール
合計3枚以上 **-1**

肝炎ウイルスリスク
B型肝炎慢性あり **-1**

肝炎ウイルスリスク
C型肝炎慢性あり **-1**

みんながゴールしたらレバーコインの数を比べてみましょう

提供：厚労省政策研究班（拡充班・均てん化班）

ご希望の方は、肝炎情報センターまでお問い合わせください。

「肝ぞうクロスワードパズル」

— 子どもが遊びながら肝臓の知識を学べる資材

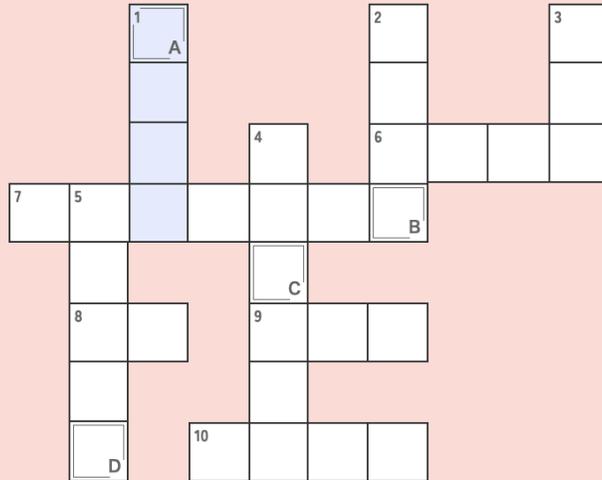
肝臓を守るために
必要な知識だよ！



かんぞう クロスワードパズルに挑戦！

このパズルでは、肝炎の種類や原因、予防法、治療に関するキーワードが登場します。楽しくパズルに挑戦することで、肝炎の知識をより深め、理解を高めることができます。すべてのマス埋めて、2重枠に入った文字を並べて言葉を完成させましょう！

遊び方



↓ たて 1 傷のある手で他人の〇〇〇〇を触ることは肝炎ウイルス感染のリスクがある

回答テキスト入力欄

決定

↓ たてのキー

- 1 傷のある手で他人の〇〇〇〇を触ることは肝炎ウイルス感染のリスクがある
- 2 2016年度以降に生まれた赤ちゃんはB型肝炎〇〇〇〇を接種している
- 3 食べ過ぎや運動不足は〇〇〇肝の原因になる
- 4 肝炎ウイルス感染をそのままにすると〇〇〇〇〇〇や肝がんになるリスクがある
- 5 〇〇〇〇〇〇に一度は肝炎ウイルス検査を受けた方がよい

→ よこのキー

- 6 肝炎ウイルスは〇〇〇〇〇〇により排除できるものもある
- 7 肝炎の治療が終わっても、肝臓の〇〇〇〇〇〇〇〇を受けて健康を維持しよう
- 8 ウイルス性肝炎のうち、日本人に1番多いのは〇〇型肝炎
- 9 大人の男性の肝臓の重さに近いのは、ネズミ・ウサギ・タヌキのうち〇〇〇。
- 10 お酒を飲むこと=〇〇〇〇

やっぱり



が一番！

採点する



Copyright © Japan Institute for Health Security. All rights reserved.

提供：厚労省政策研究班（拡充班・均てん化班）

リバビリン使用期限に関する事務連絡（令和6年8月9日）

事務連絡
令和6年8月9日

記

各都道府県
保健所設置市
特別区
衛生主管部（局）御中

厚生労働省健康・生活衛生局
がん・疾病対策課肝炎対策推進室

厚生労働省医薬局医薬品審査管理課

レベトールカプセル 200mg の使用期限の取扱いについて

平素より、厚生労働行政に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、レベトールカプセル 200mg（成分名：リバビリン）については、製造販売業者である MSD 株式会社より、その製造を中止する方針が示されました。レベトールカプセル 200mg は、前治療歴を有する C 型慢性肝炎又は C 型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善に用いる治療薬として、医療上の必要性が高く、C 型肝炎治療薬を有効に活用する観点から、製造販売業者より提出された報告書に基づき、特定ロットの有効期間を 3 年から 4 年に延長することは差し支えないものと判断し、下記のとおり御連絡いたします。各都道府県等におかれましては、医療機関及び薬局に対し、本事務連絡に基づいて本剤の使用期限を取り扱っていただくよう周知をお願いいたします。

下記の取扱いについては、添付文書上の保存方法を遵守した製剤に適用されるものであり、本取扱いを踏まえつつ、保存方法についても適切にお取り計らいいただくようお願いいたします。

なお、本事務連絡の写しについて、別記の関係団体宛てに連絡するので、念のため申し添えます。

1 レベトールカプセル 200mg の使用期限について

(1) 使用期限の変更について

レベトールカプセル 200mg については、本剤の製造販売業者である MSD 株式会社より提出された報告書の内容に基づき、現在流通している製剤の下表に示したロットについては室温での有効期間を 3 年から 4 年に延長することが可能と判断いたしました。

(2) 見分け方及び取扱いについて

使用期限が令和 7 年（2025 年）3 月（2025.03 と表示）までとなっている製剤については、有効期間を 3 年として外箱に印字されているものであり、変更後の使用期限は下表に記載のとおり、印字されている使用期限より 1 年長いものとして取り扱って差し支えありません。なお、製造販売業者によると、現在国内で流通している製剤はすべてこのロットであり、今後、本剤の新たな出荷の予定はないとされています。

ロット No	印字されている使用期限 (有効期間 3 年のもの)	使用して差し支えない期限 (有効期間 1 年延長後)
P002H	2025.03	2026.03

**最長で2026年3月まで使用可能
その後はリバビリンが使えない可能性**

C型肝炎治療フローチャート（第8.4版） 2025年4月改訂

C型慢性肝炎・代償性肝硬変^{※1} (IFNフリーDAA前治療不成功例)

<HCV排除不成功例の前治療>

1型^{※2,3}

- プロテアーゼ阻害剤+NSSA阻害剤
(DCV/ASV, OBV/PTV, EBR/GZR, BCV/ DCV/ASV, GLE/PIB^{※4,5})
- NSSA阻害剤+NSSB阻害剤
(SOF/LDV^{※6}, SOF/VEL^{※6}, SOF/VEL+RBV^{※7})

- 1. SOF/VEL+RBV 24週
- 2. GLE/PIB 12週 (P32欠失なし)

2型

- NSSB阻害剤+リバビリン (SOF+RBV)
- プロテアーゼ阻害剤+NSSA阻害剤 (GLE/PIB^{※4,5})
- NSSA阻害剤+NSSB阻害剤
(SOF/LDV^{※6}, SOF/VEL^{※6}, SOF/VEL+RBV^{※7})

- GLE/PIB 12週
- SOF/VEL+RBV 24週

^{※1} 非代償性肝硬変に対するGLE/PIB治療の安全性と有効性は確認されていない。RBV投与は禁忌であることからSOF/VEL+RBVも投与すべきではない。

^{※2} ゲノタイプ1型に対してIFNフリーDAAによる前治療を行い不成功となった例では、L31やY93以外にP32欠失やA92などNSSA領域に多様な変異が出現し、NSSA阻害薬の治療効果低下に関与する可能性がある。ことにP32欠失はNSSA阻害薬に対して強い耐性を示す。従って、DAA前治療不成功例に対する再治療を検討する際には、NS3/4AならびにNSSA領域の薬剤耐性変異、ことにP32欠失の有無を測定した上で、肝臓専門医により慎重な治療薬選択がなされることを推奨する。

^{※3} P32欠失例に対するGLE/PIB 12週の治療効果は極めて低い。ゲノタイプ1型に対する同治療はP32欠失がないことを確認してから施行することを推奨する。

^{※4} GLE/PIB治療期間が8週以下、かつ、ゲノタイプ2型またはゲノタイプ1b型でP32欠失変異が陰性の不成功例において、RBVの使用が困難な場合には、GLE/PIB(12週)も選択肢として考慮可能である。また、ゲノタイプ1b型でP32欠失変異のあるDAA治療不成功例に対しては、RBVの使用が困難な場合には、SOF/LDV(12週間)による再治療も選択肢として考慮可能である。ただし、エビデンスは限られており、その他の耐性変異の有無を含めて肝臓専門医により慎重な治療薬選択がなされることを推奨する。

^{※5} GLE/PIB 12週不成功例に対してはSOF/VEL+RBV 24週が治療選択肢となるが、臨床試験においても実臨床においてもその有効性は確認されておらず、肝臓専門医により慎重な治療薬選択がなされることを推奨する。

^{※6} SOF/LDV不成功例、SOF/VEL不成功例に対してはGLE/PIB 12週およびSOF/VEL+RBV 24週が治療選択肢となるが、^{※5}同様、明らかなる有効性を示すエビデンスはない。

^{※7} SOF/VEL+RBV 24週不成功例に対してはGLE/PIB 12週が治療選択肢となるが、^{※5}同様、明らかなる有効性を示すエビデンスはない。

不成功の内容別の注釈

GLE/PIB 8週以下

かつ、ゲノタイプ2型または1b型
かつ、P32欠失なし、**RBV使用困難**
→**GLE/PIB 12週**を考慮可能

ゲノタイプ1b型

かつ、**P32欠失あり**、**RBV使用困難**
→**SOF/LDV 12週**を考慮可能 **SVR 67%** (黒崎班)

GLE/PIB 12週不成功例

→SOF/VEL+RBV 24週が選択肢
SOF/LDV不成功、SOF/VEL不成功
→GLE/PIB 12週、SOF/VEL+RBV 24週が選択肢
信頼性の高い大規模データなし

SOF/VEL+RBV 24週不成功

→GLE/PIB 12週が選択肢
信頼性の高い大規模データなし

「肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いについて」の一部改正

令和 7 年 12 月 10 日

GLE/PIB 8週不成功に対してのみ
GLE/PIB 12週再治療が可能
医療費助成対象

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康・生活衛生局
がん・疾病対策課肝炎対策推進室長
(公 印 省 略)

「肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いについて」の一部改正について

標記事業については、平成 20 年 3 月 31 日健疾発第 0331003 号厚生労働省健康局疾病対策課長通知「肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いについて」により行われているところであるが、今般、その一部を別添「新旧対照表」とおり改正し、令和 7 年 12 月 10 日より適用することとしたので通知する。

(2) インターフェロンフリー治療について

HCV-RNA 陽性の C 型慢性肝疾患（C 型慢性肝炎若しくは Child-Pugh 分類 A の C 型代償性肝硬変又は Child-Pugh 分類 B 若しくは C の C 型非代償性肝硬変）で、インターフェロンを含まない抗ウイルス治療を行う予定、又は実施中の者のうち、肝がんの合併のないもの。

※1 上記については、C 型慢性肝炎又は Child-Pugh 分類 A の C 型代償性肝硬変に対しては原則 1 回のみの助成とし、Child-

Pugh 分類 B 又は C の C 型非代償性肝硬変に対しては 1 回のみの助成とする。ただし、インターフェロンフリー治療歴のある者については、肝疾患診療連携拠点病院に常勤する日本肝臓学会肝臓専門医によって インターフェロンフリー治療薬を用いた再治療を行うことが適切であると判断される場合に限り、改めて助成の対象とすることができる。なお、再治療に前治療と同一の治療薬を用いる場合は、グレカプレビル・ピブレンタスビルの前治療 8 週、再治療 12 週とする療法に限る。また、2. (1) 及びベグインターフェロン、リバビリン及びプロテアーゼ阻害薬による 3 剤併用療法に係る治療歴の有無を問わない。

(2) インターフェロンフリー治療について

HCV-RNA 陽性の C 型慢性肝疾患（C 型慢性肝炎若しくは Child-Pugh 分類 A の C 型代償性肝硬変又は Child-Pugh 分類 B 若しくは C の C 型非代償性肝硬変）で、インターフェロンを含まない抗ウイルス治療を行う予定、又は実施中の者のうち、肝がんの合併のないもの。

※1 上記については、C 型慢性肝炎又は Child-Pugh 分類 A の C 型代償性肝硬変に対しては原則 1 回のみの助成とし、Child-

Pugh 分類 B 又は C の C 型非代償性肝硬変に対しては 1 回のみの助成とする。ただし、インターフェロンフリー治療歴のある者については、肝疾患診療連携拠点病院に常勤する日本肝臓学会肝臓専門医によって 他のインターフェロンフリー治療薬を用いた再治療を行うことが適切であると判断される場合に限り、改めて助成の対象とすることができる。なお、2. (1) 及びベグインターフェロン、リバビリン及びプロテアーゼ阻害薬による 3 剤併用療法に係る治療歴の有無を問わない。

令和8年度の活動

肝炎情報センター

- 情報発信

ホームページ・コンテンツの充実

肝炎医療ナビゲーションシステム（肝ナビ）運用

肝がん・重度肝硬変
への対応

- 連携強化

拠点病院活動現状

拠点病院・自治体

肝炎対策地域プロ

- 研修充実

研修会の充実とアーカイブ資料提供

肝疾患患者相談支援システム運用

- 肝炎情報センターHP
- 肝ナビ
- 相談支援システム
- 肝炎医療コーディネーター用
啓発資材の提供

積極的なご利用をお願いいたします。
ご要望やご意見, お待ちしております。